

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場取引所 大

上場会社名 綜研化学株式会社

コード番号 4972 URL <http://www.soken-ce.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大岡 實

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 野田 和幸

TEL 03-3983-3268

四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,249	0.3	417	△44.7	376	△49.3	230	△57.1
23年3月期第1四半期	6,230	18.9	756	112.3	743	93.6	536	147.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 360百万円 (△34.1%) 23年3月期第1四半期 546百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	27.80	—
23年3月期第1四半期	64.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	27,386	16,326	57.7
23年3月期	27,785	16,258	56.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 15,795百万円 23年3月期 15,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	35.00	35.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	6.6	750	△36.1	700	△38.1	400	△49.7	48.27
通期	27,500	12.4	1,800	5.5	1,700	4.0	1,000	△0.1	120.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	8,300,000 株	23年3月期	8,300,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	13,565 株	23年3月期	13,565 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	8,286,435 株	23年3月期1Q	8,286,435 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、海外では中国をはじめとする新興国で景気は概ね堅調に推移しましたが、国内では、東日本大震災によりサプライチェーンの寸断や電力不足による生産活動の停滞、個人消費の冷え込みなど景気が落ち込むとともに、原油価格高、円高など厳しい状況にありました。

このような事業環境のもと、当社グループは、震災の影響を最小限に留めメーカーとしての供給責任を果たすべく、原材料の安定確保と電力事情に応じた柔軟な生産体制により、生産量確保に注力するとともに、中国市場での販売拡大に努めてまいりました。

当社関連分野におけるケミカルズの製品需要は、特殊機能材製品、加工製品が中国市場において順調に推移し、前年同期の水準を上回ったものの、フラットパネル・ディスプレイ（FPD）関連用途の粘着剤関連製品は、好調であった前年同期の水準には至らず、全体としては前年同期を下回りました。装置システムにつきましては、工事完成高が増加し、前年同期を上回りました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、62億49百万円（前年同期比0.3%増）となりました。利益面では、原材料価格の上昇により、経常利益は3億76百万円（前年同期比49.3%減）、四半期純利益は2億30百万円（前年同期比57.1%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

<ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高は56億62百万円（前年同期比4.2%減）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、FPD関連用途の需要が好調であった前年同期の水準には至らず、売上高は29億76百万円（前年同期比17.5%減）となりました。

微粉体製品は、電子材料用途、建材用途向けの販売数量が増加したものの、液晶表示装置用の光拡散フィルム向けの販売が低調であったため、売上高は5億28百万円（前年同期比0.6%増）にとどまりました。

特殊機能材製品は、中国市場における電子材料用途向けの販売数量が増加し、売上高は8億44百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

加工製品は、中国市場における家電用途、電子機器用途向けの機能性粘着テープの販売数量が増加し、売上高は13億12百万円（前年同期比33.9%増）となりました。

<装置システム>

装置システムは、引き続き設備投資の冷え込みの影響を受け低調に推移する中、前年同期に比べ工事完成高が増加したことにより、売上高は5億87百万円（前年同期比84.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて3億99百万円減少し、273億86百万円となりました。

流動資産は、有価証券、たな卸資産が増加したものの、現金及び預金が減少したことなどにより、前期末に比べ3億85百万円減少し、138億56百万円となりました。

固定資産は、設備投資額が減価償却費の範囲内に収まったことなどにより、前期末に比べ13百万円減少し、135億30百万円となりました。

一方、負債については賞与引当金、未払法人税等の減少などにより、前期末に比べて4億67百万円減少し、110億59百万円となりました。

当期末における純資産は、その他の包括利益累計額の増加、利益剰余金の減少などにより、前期末に比べて68百万円増加し163億26百万円となりました。

これらにより、自己資本比率は前期末56.7%から1.0ポイント増加し57.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,253,788	2,021,150
受取手形及び売掛金	7,412,975	7,467,703
有価証券	—	500,000
商品及び製品	2,232,194	2,438,886
仕掛品	29,139	57,419
原材料及び貯蔵品	723,050	857,646
繰延税金資産	309,242	300,792
その他	289,368	220,565
貸倒引当金	△7,883	△8,117
流動資産合計	14,241,876	13,856,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,347,365	10,476,979
減価償却累計額	△4,196,505	△4,318,767
建物及び構築物(純額)	6,150,859	6,158,211
機械装置及び運搬具	11,943,585	12,066,182
減価償却累計額	△8,291,672	△8,542,722
機械装置及び運搬具(純額)	3,651,912	3,523,459
土地	1,178,423	1,181,298
建設仮勘定	226,510	314,461
その他	1,178,183	1,230,415
減価償却累計額	△917,870	△947,806
その他(純額)	260,312	282,608
有形固定資産合計	11,468,018	11,460,039
無形固定資産		
その他	157,175	152,699
無形固定資産合計	157,175	152,699
投資その他の資産		
投資有価証券	709,998	691,757
関係会社出資金	314,804	320,062
繰延税金資産	571,633	579,606
その他	322,858	326,967
貸倒引当金	△1,060	△1,100
投資その他の資産合計	1,918,233	1,917,293
固定資産合計	13,543,427	13,530,032
資産合計	27,785,303	27,386,078

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,614,904	5,656,576
短期借入金	1,190,438	1,471,730
1年内償還予定の社債	340,000	340,000
1年内返済予定の長期借入金	742,020	411,000
未払法人税等	239,557	103,662
賞与引当金	471,245	153,369
完成工事補償引当金	5,200	9,600
工事損失引当金	357	5,095
役員賞与引当金	41,400	12,500
その他	1,068,935	1,086,618
流動負債合計	9,714,059	9,250,152
固定負債		
長期借入金	246,000	253,400
退職給付引当金	1,310,329	1,310,289
その他	256,808	245,396
固定負債合計	1,813,137	1,809,086
負債合計	11,527,197	11,059,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,816	3,402,816
利益剰余金	9,163,292	9,103,651
自己株式	△10,889	△10,889
株主資本合計	15,916,782	15,857,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,131	173,119
為替換算調整勘定	△334,377	△235,243
その他の包括利益累計額合計	△151,246	△62,124
少数株主持分	492,569	531,821
純資産合計	16,258,106	16,326,839
負債純資産合計	27,785,303	27,386,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	6,230,262	6,249,446
売上原価	4,013,324	4,381,663
売上総利益	2,216,937	1,867,783
販売費及び一般管理費	1,460,615	1,449,815
営業利益	756,322	417,967
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,461	6,161
持分法による投資利益	12,580	—
補助金収入	7,298	6,164
保険配当金	7,228	8,717
雑収入	10,128	9,319
営業外収益合計	42,696	30,361
営業外費用		
支払利息	21,635	22,878
持分法による投資損失	—	3,566
売上割引	2,681	4,116
為替差損	11,766	34,355
外国源泉税	14,241	—
雑損失	5,351	6,469
営業外費用合計	55,676	71,386
経常利益	743,342	376,943
特別利益		
固定資産売却益	66	1,931
完成工事補償引当金戻入額	28,500	—
その他	4,673	—
特別利益合計	33,239	1,931
特別損失		
固定資産除却損	4,556	27,954
投資有価証券評価損	8,898	—
特別損失合計	13,455	27,954
税金等調整前四半期純利益	763,127	350,920
法人税等	189,740	98,124
少数株主損益調整前四半期純利益	573,386	252,795
少数株主利益	36,740	22,411
四半期純利益	536,646	230,384

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	573,386	252,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,421	△10,012
為替換算調整勘定	22,969	108,380
持分法適用会社に対する持分相当額	935	9,469
その他の包括利益合計	△26,517	107,838
四半期包括利益	546,869	360,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	507,297	319,506
少数株主に係る四半期包括利益	39,571	41,127

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,911,847	318,414	6,230,262	—	6,230,262
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,701	—	2,701	△2,701	—
計	5,914,549	318,414	6,232,964	△2,701	6,230,262
セグメント利益又は損失(△)	787,593	△51,663	735,929	20,392	756,322

(注)1 セグメント利益の調整額20,392千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,662,052	587,394	6,249,446	—	6,249,446
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,213	7,987	11,200	△11,200	—
計	5,665,265	595,381	6,260,647	△11,200	6,249,446
セグメント利益	395,728	2,752	398,481	19,486	417,967

(注)1 セグメント利益の調整額19,486千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は平成23年7月26日開催の取締役会において、中国における加工製品の新たな生産拠点を設置することを決議致しました。

この生産拠点は、華東地区を候補として、今年度中を目途に、当社の子会社である寧波綜研化学有限公司の製造子会社として新たに設立するもので、当該製造子会社での設備投資の総額は約15億円を予定しております。